

第1回 神保原駅北まちづくり協議会 会議録

日 時

令和3年11月18日 13:30~16:00

場 所

上里町役場 4階大会議室

出席者

協議会委員

学識経験者
為国 孝敏氏、並木 孝之氏
地元地権者
片倉 昭弘氏、鈴木光雄氏、中島 勇郷氏、武野 治氏
関係団体
木村 芳雄氏、柴崎 篤氏、吉田 仁氏（欠席）
行政機関
伊藤 佳子氏、飯塚 雅彦氏、間下 泰晴氏（代理：生活安全課課長 三浦氏）
公募者
上山 弘志氏、黒澤 望氏、田島 美由紀氏、森田 将伍氏

来賓

議会議長
猪岡 壽議員

上里町

山下町長、江原副町長

事務局

まち整備課
相馬課長、飯島課長補佐、伊藤係長、清野主査、松本主任

コンサル

昭和(株)
都市調査室：廣瀬、中島、市街地整備室：林

内 容

<1. 開会>

江原副町長より開会のあいさつ

<2. 町長あいさつ>

山下町長よりあいさつ

<3. 来賓あいさつ>

猪岡議長よりあいさつ

<4. 神保原駅北まちづくり協議会設置要綱(以下、協議会設置要綱)について【資料1】>

飯島課長補佐より説明
質疑なし

<5. 委嘱状の交付について>

山下町長より、まちづくり協議会委員を代表し為国氏に委嘱状の交付

<6. 委員紹介>

事務局より委員紹介

<7. 会長選出>

協議会設置要綱第4条第1項の規定により、委員の互選により選出を行った。
協議会委員より「事務局一任」とのご意見があったため、
NPO法人まちづくり支援センター代表理事「為国 孝敏氏」を会長に選任し、承諾をいただいた。

為国会長

～会長あいさつ～

改めまして、皆さん、こんにちは。よろしくお願ひ致します。

ご選任いただきありがとうございます。数年前、都市計画マスタープランの策定委員会でお手伝いさせていただき、その時も委員長をさせていただきました。

今、私は足利にありますが、そのご縁で上里町に関わらせていただいております。足利インターのすぐ近くにいるので、上里町へ行くのが楽ですね。

コロナ渦で、この様な会議も難しいところですが、今、落ち着いてきましたので、皆さん方と意見交換が出来るのを楽しみにしておりました。特に神保原駅北口に関しましては、地権者の皆さんが来て頂いておりますが、都市計画マスタープラン作成している時から、「なんとかしたいね。」という事を常に議論してきたところです。猪岡議長も仰っていましたが、やっとこういう形で協議会をスタートし、協議会のお手伝いできる事をご縁に思いながら進めていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

～副会長指名～

副会長は、協議会設置要綱第4条第3項の規定により、委員のうちから会長が任命を行った。

為国会長より「並木 孝之氏」を任命し、承諾をいただいた。

<8. 写真撮影>

神保原駅北まちづくり協議会設立の写真撮影

<9. 委員の出席状況>

協議会設置要綱第6条第3項の規定により、委員の過半数の出席（15名（うち代理1名含む））が確認されたため、本会議は成立することを事務局より報告した。

<10. 会議録署名委員の指名>

協議会設置要綱第8条第2項の規定に基づき、為国会長より「鈴木 光雄氏」、「木村 芳雄氏」の2名を任命し、承諾をいただいた。

<11. 傍聴者の入室>

神保原駅北まちづくり協議会の会議の公開に関する要綱 第2条」に基づき、本会議は「公開」により行い、傍聴者6名の入室及び、第9条第1項第4号の規定に基づき報道関係者の入室を許可した。

<12. 議題>

■ (1) 神保原駅北まちづくり協議会について【資料2】

～飯島課長補佐より説明～

～以下質疑応答～

私は、町民ワークショップは凄く大事だと思ひて、ぜひ実施して頂きたいと思ひています。そのために、今の説明だけではなく次回の協議会くらいまでに、もう少し具体的に何人くらいの方が集まって、どのくらいの回数でワークショップが出来るのか、少なくとも聞きっぱなし、言いつぱなしのワークショップにはなって欲しくないと思ひます。皆さんの意見を聞く、聞いたものを、行政側がどこまで出来るのか、出来ないのかも含めて、ぜひワークショップの実施は願ひしたいと思ひています。次回で結構ですので、もう少し具体的なものをぜひお示ししていただきたいです。

そのように検討したいと思ひます。

鈴木 光雄委員

事務局
飯島課長補佐

為国会長

これは私もすごく重要だと思ひて、具体的な計画をしていかないとご意見は頂けないので、皆さんと話し合う、自由に意見交換出来る事はぜひ願ひをしたいと思ひています。

■ (2) 神保原駅北まちづくり基本構想（案）について【資料3】

～伊藤係長より説明～

～以下質疑応答～

<p>上山 弘志委員</p>	<p>大変素晴らしい計画だと思います。ただ、ご説明を聞いて少し気になった点として、これからこの計画を町民にお示しするのであれば、もう少し平易な言葉の方がいいのではないかと思います。正直、ウォークアブルとかタウンミーティングとかワークショップという言葉は何となくは分かっておりますが、日本語でどのように言えば良いか私も思い浮かばないので、シニアの方に向けてより分かりやすく伝わった方が計画を読んでもらえるのかと思います。</p> <p>もう一つが、今回の計画の核が JR 神保原駅ですが、仕事で JR の小規模駅の再開発を担当していた事があり、JR との絡みは非常に大事だと思っています。これから計画について擦り合わせていくかと思いますが、お話を聞いて思い出したのでお話をさせていただきます。</p>
<p>事務局 伊藤係長</p>	<p>ご指摘のとおり、町民の方にご説明をする時には、極力行政用語や難しい用語は避けて、丁寧に説明していきたいと思っています。</p> <p>また、JR の方とも今後、まちづくりを進めていく中で、具体的な検討をしていきたいと思っています。</p>
<p>為国会長</p>	<p>現場で実際に動かしていこうと思った時には、皆さんに分かるような説明に変えた方がいいと思います。ウォークアブルは要は歩いて楽しい街づくりという事なので、ウォークアブルと言わなくても済むわけです。国交省にお金貰う時にはウォークアブルと言えば良いので、皆さんに説明する時には、出来るだけ丁寧な説明をする事で上里町は優しい町だと、かえって評価が高くなるので意識して欲しいと思います。</p> <p>それから JR は色々と協議が難しいです。これから交渉だと思っていますが、上手に協議をしていきましょう。</p>
<p>中島 勇郷委員</p>	<p>私ら地元の者としては、住民が安心して協力出来るように、今、空いている土地が増えているので、計画を進めながら町で先行取得という形を進めて頂きたいです。そうすれば地元も安心して話し合いが出来ると思います。心配している方も多いと思います。</p>
<p>事務局 相馬課長</p>	<p>道路の整備などご協力いただく地権者の方につきましては、移転をお願いすることもあると思います。それに関しては、事前に意向を確認させていただいて、町として出来ることを最大限努力させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>為国会長</p>	<p>こういう計画を作成していくと夢物語で終わる可能性があります。それに対して町民の方たちがずっと付いて来てくれるかという事難しいと思います。それを避けるためには、まず、やれるところから行政サイドと皆さんで相談しながら進めて一つでも結果を出していく。これを繰り返してやっていかないと理解が求められないと思います。その辺りは、事務局サイドにもよくお伝えしたいなと思います。本当に夢物語で終わるのであれば、ここに集まった意味がないので、計画を作っていくのは予算の関係や国からの補助を貰わないとやっていけないので大切な事ですが、そこに至るまでの間に、やれるところから進めていかないといけないという事は、ぜひ事務局サイドをお願いしたいと思っています。</p>
<p>柴崎 篤委員</p>	<p>すごく見やすく分りやすい資料で理解も出来ました。家族がいるのですが、休日にこういう形のもので出来たら行くのだろうなとすごく思いました。</p> <p>その中で、この構想を実行した後に、人口はどういう変化があるかを見ていられるのでしょうか。</p>
<p>為国会長</p>	<p>この構想計画が具体的に出来上がって、全部完成するのに少なくとも 10 年は掛かると思います。10 年後の人口は 2030 年には 27,000 人と推計されていますが、この計画が出来上がった後、どういう風になっていくか想定しているかという事だと思います。</p>
<p>事務局 伊藤係長</p>	<p>まちづくりは会長がおっしゃった様に短期間で終了するものではないので、10 年、20 年というスパンで見込んでいくものだと思います。</p> <p>実際に、整備した後の人口推移は現時点では算出しておりませんが、今、町では「立地適正化計画」という駅周辺をコンパクトなまちづくりにしていく計画の策定を行っております。計画では一定の区域を定めて、その中で求められる商業施設や医療施設等の便利な機能を配置して、人を呼び込み人口密度を維持していく計画でもあります。駅北のまちづくりを進めていくにあたり、この様なコンパクトシティの考え方もございまして、人を呼び込める様なまちづくりを進めていきたいと思っています。</p>

田島美由紀委員	<p>本当にこの様になればいいなとは思ったのですが、この様な整備をして必ずしも人口が増えるとは限らないので、今いる住民のためにやれる事や人口を多くするためにこういう事をやっていく等、具体的にこういう事をやる時にターゲットを絞ってやった方が効率的ではないかと思えます。結果的に人は来るかもしれないが、住む人がいなければ、どんどん上里町も人口が少なくなってしまうので、もう少し具体的にターゲットを絞った方が良くないかと思えます。</p>
事務局 伊藤係長	<p>構想の出し方として、イメージや方針に留めておりますが、今年度は構想までを検討していき、来年度は構想を基に、どのような整備が駅北のまちづくりに馴染むのかという事を、協議会でのご意見や住民説明会などでのご意見を頂きながら、どのような商業機能や公園などが必要となるかなど、具体的な検討をしていきたいと考えております。</p>
為国会長	<p>今、イメージだけしか出来てないんですよ。夢みたいだよと言ったのはそういう事です。だけれども、人口減を防ぐ事を目標にするのは良くないと思っております。人口減は結果としてなるものなので、私が一番大切だと思うのは、上里町のお住まいの町民の方たちの満足度が「ここに住んでいて良かった」、「ここがいいや」と思える人達が増える様なものにしていくために何をしていくかという事だと思います。</p> <p>先程も言った様に、具体的にやれるところから出していく事と、もう一つお願いしたい事で、今は、まち整備課の範疇で行っていますが、上里町の他の部署でも色々な仕掛けを行ったり、動かしているはずだと思います。出せる情報が来た時に、まずこの協議会にも情報提供していただきたいと思えます。そうでないと協議会でやる事と他の所が全然違う方向に向かっていってしまうといけませんので。また、協議会でやったことを、他の関係する部署にきちんと伝えて頂く様にお願いします。</p>
代理) 三浦委員	<p>警察としてのお願いでお話させていただきますが、この様な基本構想があるので、予算が取れるのであれば、ぜひ防犯カメラをより多く設置して頂いた方が、治安を守る警察としては、防犯確認の有効活用という所でとても有効になると思えますので、ぜひ検討して頂ければと思います。</p>
事務局 伊藤係長	<p>防犯カメラについてのご意見を頂きましたが、この段階ではイメージの話ではありますが、実際にまちづくりが進んでウォークアブルな空間を整備することで、人の流れも変わっていく中で、防犯カメラの設置など防犯機能を高める取り組みというのは、必要になってくると思えますので、そういった事も検討していきたいと考えております。</p>
為国会長	<p>時代が時代なので、防犯に関してぜひお願いします。</p>
森田 将伍委員	<p>先程、商業施設の発展に関する資料を見ましたが、やはり町で人口が少なくなっている事実があって、これを止めるというか、今住んでいる人もこれからも住んでいたいと思える様な、また、育っていく子供たちが大人になった時に、自分も上里町に住みたいと思える様にするには、コミュニティが大事だと思っております。地域の人が助け合えるまちなると、人口減少が止まる事にもつながると思っております。</p> <p>先程、資料ではまちを活性化させるためには商業施設を建てるという記述がありましたが、地域の人達が集まれる場所、例えば、地域で孤立してしまう高齢者や障害者の方、または子育て世代の人などが孤立しない様に、商業施設の隣に、本庄の「はにぼん」みたいな施設が必要かと感じました。その様な取り組みとかは考えていますか。</p>
事務局 相馬課長	<p>資料3の23ページで、「まちなかふれあいゾーン」で、緑色で示させて頂いているゾーンがございます。現状を見ますと、まとまりのある低未利用地で、こちらのゾーンの方針としては「多様な世代を惹きつける、交流や憩いの場所」という整備方針を定めております。こういった方針の基、どういった整備が良いかは、この協議会の中で色々なご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>また、こういった場所を使って地域のコミュニティが形成されれば、大変良いかと思えます。その他のゾーンでもコミュニティを形成する場があった方が良いなどのご意見も頂けると大変ありがたいです。</p>
為国会長	<p>私も言いたかった事をちゃんと言ってくださってありがとうございます。</p> <p>今のたたきはハードに偏り過ぎていて、いつもまちづくりをやっている考え方はソフトになりますね。要は人が動くのでソフトの対策をきちんとサポートしていかなければならないので、それがまち整備課だけでなく、他の部署との連携をしてくださいという事がある</p>

	<p>ります。</p> <p>都市計画系の専門家がやると言葉だけのコミュニティで、まちづくりをやっているの で、ぜひコミュニティ作りをやっていただき、大量に集まるとかだけではなく、色々な人 達が色々な居場所が作れるような、居心地の良い空間づくりというのは、その空間だけ でなく人がいる事によって居心地が良くなる事があるので、ぜひ今のご指摘は頭に入れな がら進めていただければと思います。</p>
片倉 昭弘委員	<p>言葉としてコンパクトシティのイメージを皆さんの中で統一されていると思います。 実際には、空間としてのコンパクトシティというのは見たことないので、もし会長の方 で上里町と同規模の先行例を挙げていただいて、見てみたいと思っております。</p>
為国会長	<p>コンパクトシティを一生懸命進めてはいますが、私は上手く行っている所を見た事がな く、日本では現実的に難しいと思っています。先進事例は、特定のごく一部の所をみんな に見せているだけであまりにも理想論過ぎています。</p> <p>私は、先進事例という言葉が好きではなくで、ただ単に先行事例です。コンパクトシ ティをやるよりもそれぞれの所で頑張っていてやっております。</p> <p>申し訳ありませんが、私は最近、都市計画やまちづくりに少し離れていて公共交通を専 門にやっています。まちづくりは数年前までやってきましたので、こちらについては事務 局サイドと相談して良い所があれば見つけたいと思います。国交省が出しているガイド ラインの絵だと多分合わないと思います。国が出しているものは人口 10 万人規模のも ので作っております。上里町は 3 万人で私が関わっている所は、3,000 人～4,000 人の自治 体ばかりで、久しぶりに大きな自治体に携われて喜んでおります。</p> <p>そういう所を見ながら、先行事例を出していきたいと思いますが、上里町が上里町の先 進事例を作れば良いと思っています。皆さんから頂いたご意見を合わせて考えていきな がら、少しでも似たような、参考になりそうな所を事務局と相談して探してみたいと思 います。おそらく、並木副会長もご存知だと思いますので、その様なものを協議会に提供し ながらやっていきたいと思っています。</p>
鈴木 光雄 委員	<p>失敗事例も見てみたいですね。</p>
為国会長	<p>逆にそちらも良いかもしれないですね。失敗事例も探してみます。</p>
上山 弘志委員	<p>今回、神保原駅北口の構想ですが、この構想が実現をすると構想の趣旨通り人口が増 えて、人の行き来が増えると、自然と自動車の交通も増えると思います。</p> <p>今、国道 17 号の本庄道路を作っているので交通量が増えると思っております。神保原 駅北口に自動車が流入してきた時に、神保原駅西側に一つ大きな踏切があつて、結局こ こで車が詰まってしまうような気がしております。夕方のラッシュ時に踏み切りが閉ま ってしまうと、15 分くらい止められて非常にイライラする事があるのですが、この辺の改 善策は今回の構想に含まれるのでしょうか。</p>
為国会長	<p>正直、そこまでまだ考えてないと思います。</p> <p>要するに、ある程度道路を作り上げていった時に、私も危惧していますが空間を広げ ると交通が集中してしまいます。それに対する対策は意識しないといけないのけれど も、ここの段階では意識していないですよ。今、ご指摘いただいた一歩先の事まで、注 視する事は必ず入れておいた方がいいと思います。</p> <p>車が集まってきたら、後で警察に怒られてしまうと思います。今度は防犯じゃなくて交 通安全で怒られますし、PTA との協議で失敗するのはここです。人が集まるとそれに付 随して負の効果も生まれるので、そこを想定だけはしといた方が良いでしょう。上山委員のご指 摘はその様な内容でよろしいですか。多分まだそこまで考えてないと思うので、今後考 えていきたいと思っています。</p>
並木 孝之副会長	<p>今回は、構想という事で将来像を示していただいたかと思います。個別の地区のゾ ーンは、いわゆる教科書的なものが下にありまして、それが書いてあるかと思 います。</p> <p>これから計画づくり実施作りを為国会長がおっしゃいましたけれども、そういう中 で優先順位やコアになるもの、コアな事業等に伴って副作用的な周辺の交通量の話は これから出てくると思います。</p> <p>1 つ認識しておかなければならない事は、今まで日本や埼玉県でやってきた駅前 の開発や整備の仕方と違って考えなければいけないと思います。</p> <p>時代が違うという事もありますが、振り返ってみると、戦後、埼玉県の人口が 200</p>

	<p>万人から 700 万人になり、毎年 20 万人ずつ増えていて、駅前広場の交通が出てきて、駅前交通広場が足りないところで整備をする。整備する手法として再開発もやりますが、実際に再開発は 20 年掛かっています。先程、会長から 10 年くらいという話がありましたけれども、本当に 10 年で出来たら良いという話でございます。</p> <p>今回、神保原を見させていただくと、まちづくりを進めていく上での牽引力、実際に色々な事例を見ていくと、端的な話をすると、ここにプラスアルファの大型商業施設の跡地とかある程度インパクトのあるものが非常に大事な要素になってくるという事です。そういうことが他にあるとすれば道路や周辺環境整備は自ずと付いてきます。もちろん駅前広場は作るだけでもかなりの投資があるので、周辺のまちなみを変えとか、商業施設を呼び込むとか、今はなかなか道路だけを造っても来ませんが、要素があるので、これからの計画作りに重要である事は、一つ頭に置いておかなければならないと思います。</p> <p>少しだけ違和感があるのが、住宅が便利で住み続けたいという事で、もちろん住民の方がいて、住民の方もまちづくりに参加して賑わい作り、先程ソフトという話がありました。そういうところに参画していきますが、よくハロウインの時期に渋谷の商店街の住民の方が不便を感じて、なかなか利益を共有できないという状況もあります。人がたくさん来るということは、住むという立場からすると、もしかしたら負の資産なのかもしれないですが、買い物がしやすい、コミュニティが盛んになるというメリットもたくさんあると思います。実際に公園作りますという事なので、区画整理まで実施しないと思いますし、立ち上げは難しいと思いますが、公園や広場の整備を丁寧に行って必要があると思います。そういう人たちの理解も必要だと思いますので、そこは気を付けていかなければならないと思います。なんとなく置き去りにされてしまう可能性があります。今回、基本構想にきちんと書いてはありますが、その辺が気になる所でございます。</p>
為国会長	<p>先程のコミュニティの指摘と同じで、ハードは 10 年 20 年掛かる訳で、今生きている方たちが元気なうちに色々なことを経験させてあげる事をやっていかないと誰も付いてきてくれないので、そこは気を付けていきたいと思えます。</p>
鈴木 光雄委員	<p>私は地権者であるので、ざっとこれから皆さんとまちづくり協議会で議論していく上で、先程、副会長が言われた様に今の段階でも皆さん全面賛成という訳ではなく、そうでない人がいらっしゃることが事実であります。今まで発起人として打ち合わせをしてきて、構想をある程度、地域の方に示す事で、「こういうものを作るなら仕方ないよね」といったマイナス的な同意でも良いのですけれども、ただ反対されるのは困るのが本音で、発起人会としては、あまりにも総花的な構想案であったけれども、そういうものを進めていく中で段々地域に何を下していくかという事を皆さんと協議していきたいと思っています。</p> <p>構想については、地域を考えてしまうと何も出来なくなってしまうけれども、上里町にとって何が大事なのかという視点でやっていく事が、今までの発起人会の考え方になります。それを踏まえて、全町民を対象としたアンケート調査を実施して、町の人が神保原駅北口をどの様に考えているかという事から、発起人会として動き始めております。皆さんから忌憚のない意見を貰うことが、構想の段階でもあってもいいかと思っております。</p> <p>やはり地元に対する配慮がないと、なかなか難しいと思えますので、ぜひその点を踏まえた上で、協議会は進めさせていただければ良いと思っております。</p>
為国会長	<p>私自身、他地区のまちづくり協議会をやっていて、最初にやるのは纏める事はしないという事です。まず協議会の皆さんの意見をまず聞くことから始めていきたいと思えます。</p>
木村 芳雄委員	<p>商工会の立場で一言申し上げたいのですが、この駅北まちづくりにつきまして大変素晴らしいなと思っております。商工会の駅北地域につきましては、商工会の会員が多くおります。そのため、駅北のまちづくりが進む事によって、商工会の発展に繋がってくると思い、大変喜んでいただいております。ぜひ、このまちづくりを進めて頂く事を願っている所です。</p> <p>商工会が発展するにあたり、地域の活性化にも繋がってくるかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
為国会長	<p>そういう狙いもありますね。みんなで頑張っていくために、環境づくりの後押しをやっていきたいと思えます。</p>
武野 治委員	<p>上里郵便局はこの土地に 110 年あります。郵便局の建物としては、中山道の所に最初出来まして、移転して約 45 年経ちますが今の場所に移っております。</p>

	<p>その中で郵便局は、皆さんの交流の場として民営化後に色々な取り扱いでご不便をかけているのが事実です。ただ、民営化という事があったので、逆に自治体の業務の一部を郵便局で行う事を考えております。例えば、住民票の発行や住民の方のご相談等、今の郵便局ではやっていない事がこれからは出来るようになるという構想もございます。</p> <p>ただ、今の上里郵便局の建物だと限界があるのですが、これからの開発部門も変化をしていく可能性もございます。憩いの場としてフロアの共有化や住民の方に作業場、集まって催し物をしていただける様な事を郵便局としても考えておりますので、ぜひ使っていただきたいという思いもございますので、よろしくお願ひします。</p>
黒澤 望委員	<p>私は神保原駅北の方に住んでいて、子供が小さいので駅の北の方にベビーカーで散歩に行き、このゾーニングだと滞留ゾーンあたりを歩いています。商業機能の誘導と書いてありますが、私が歩いてみた感じだと商業施設が何件かあり、駐車場がたくさんあって、あと失礼ながら人が住んでいるか分からない様な家がある道に、どのように商業機能を誘導して、どこにお店を入れるのかが疑問としてあります。</p> <p>家、駐車場、新しいお店、家といった中途半端な誘致の形ですと、新しいお店に人があまり来なくなってしまい、結局シャッター通りになってまた寂れたような風景が戻ってきてしまうのではないかという心配があるので、その辺りをもう少し詳細に考えていく方が良いと思いました。</p>
為国会長	<p>実際に誰が使う、どのように使うというところをこれから色々提案していきたいと思ひます。</p>
伊藤 佳子委員	<p>こちらのまちづくり構想を見させて頂いて、綺麗にゾーニングされて確かにこういうまちになったらいいなと思ひますが、せつかくこの様な基本構想を作るのであれば、まず上里町らしさ、現状を見て、上里町の特性を生かしたものを基本構想に入れていただいた方が良くと思ひます。確かに、旧中山道ゾーンは入ってはいますが、ハードもしかりどんな方が住んでいるのか、その属性などを分析したのを反映して頂くとか、もう少し上里町らしさが反映したような形になると、皆さんも具体的になるのかという気はしました。</p>
飯塚 雅彦委員	<p>我々、本庄県道整備事務所がこの場所を見た時に、我々がやらなければならない道路があるなと率直に感じております。</p> <p>まず、神保原停車場線がメインになってくると思ひますが、この路線に関しては日頃から、町の方から要望を頂いている路線でございます。センターラインも歩道も無く、それでクランクしているの、我々も整備しなくてはならない路線と感じてはいるところではあります、限りある予算の中で優先順位を上げていかなければならないところがございます。</p> <p>では、優先順位を上げるためにはどうすれば良いかという、利用者、歩行者も多くな、交通量もそんなに多くないですが、警察の方が言うように歩道も無いので危ないですが、優先順位を上げるためには道路整備だけではなく、まちづくりと一体的に道路整備する事を地元の方々と束になって機運が高まれば、我々としても優先順位は上がってくるため、整備がしやすくなっていくという事でございます。</p> <p>まちづくりと一体的になぜやる必要があるのかいうと、どこの駅でも駅前広場があって両側に広い歩道がある停車場線も多いですが、少し間違えると道路を拡幅するために今の道路の倍くらいの幅員になり、今住んでいる方の用地をほとんど買収させていただいて、道路を拡幅する形になります。道路は綺麗になりますが、拡幅したことにより、今住んでいる方が住めなくなってしまう問題も起きてきます。道路は綺麗になったが、沿道に何かあるかというシャッターが閉まったお店があると言った形になってしまうと、我々としても事業をやる上で本末転倒の様な形になってしまうので、ぜひその点に関しましては、今後、協議会の中で、色々煮詰めて頂いて、私の方からもご意見お聞きさせていただきたいと考えているので、引き続きご協力よろしくお願ひ致します。</p>
為国会長	<p>そういう失敗事例はよく見ております。</p> <p>また、伊藤委員がおっしゃった通り上里町らしさを出す事が、町民の方たちとワークショップを具体的に実施して、町民の方々も「上里町らしさとは何だろう」とそこまで意識してされているか聞いてみないと分からないので、それを打ち出していければと思ひます。</p> <p>例えば、私が栃木県佐野市の「さのまる」を仕掛け人をしていて、ちょうどゆるキャラグランプリがピークの時に1位を取ったのでラッキーでした。それをやる時の私の狙いは、「佐野市民に誇りを持って欲しい」という事でした。</p>

今、佐野市内がどうなっているかというところ、さのまるの絵がいっぱい出ています。10年持てば良いと思っておりましたが、10年経っております。

一番良かったのは、行政ではなく市民や企業が今まで地味だった佐野市の人たちが発信していった事です。だから注目されて違う効果も生まれていております。

例えば、台風19号が上陸した時に秋山川が決壊しましたが、幸いにして亡くなった方はいらっしゃらなかったのですが、決壊した場所がセンセーショナルだったので、東京のキー局が取材に来て報道しておりました。その後、佐野に関わりのあった方から心配の連絡が来て、栃木県内からボランティアに来られる方が圧倒的に多かったです。

これは市民の皆さんが発信してくれた効果があったおかげだと思います。

では、上里町はみんなで誇りを持てるのか。神保原駅北口が誇れるようなところになりたいと思っております。ただ単に空間づくりだけでは駄目で、どこにでもある誰も使ってくれない駅前広場をお金をかけて造っても仕方ないので、町民の方たちが一番愛着を持てるような地区をつくっていくためにどうするか、これからみんなで意見を頂く事が出来れば良いと思っております。

皆さんから色々探って来ていただき、ご意見をいただいて、次のステップとして大切なのはターゲットを絞り込んでやっていかないといけないため、どの様にやっていくかという辺りまで議論して進めていきたいと思っております。

先程、商工会から全面的に協力いただけるという事と、郵便局も協力していただけるというお話をいただきました。多分、県も協力していただけると思うので、みんなで作れる、小さな町だからこそそれをやるというのが良いと思っております。

次の会議で集まりますが、今日の話の中で思い立ったら事務局へぜひご意見を入れてあげてください。

～事務局より次回協議会について～

次回の協議会につきましては、令和4年1月の開催を予定しております。今回は、本日はいただいたご意見を踏まえ、住民説明会において説明する内容などについてご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

<13. 閉会>

閉会（並木副会長）

以上

事務局
清野主査